

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日	定時株主総会 3月31日 剰余金の配当 期末3月31日 中間9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	大阪市中央区伏見町三丁目6番3号(〒541-8502) 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 0120-094-777(通話料無料)
公告方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.dnt.co.jp/ ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
単元株式数	1,000株
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部(証券コード4611)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

>>「大日本塗料公式ホームページ」のご案内

<http://www.dnt.co.jp/>



本年3月にリニューアルした当社ホームページはより見やすく、より快適にご利用できるようになりました。スマートフォンやタブレット端末にも対応していますので、ぜひアクセスしてください。



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

第134期中間報告書

平成28年4月1日から平成28年9月30日まで

DNT
DAI NIPPON TORYO

大日本塗料株式会社

持続的成長力とグローバル展開力を持つ企業への飛躍を目指し、グループを挙げて取り組みます。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府、日銀による経済・金融政策により緩やかな回復基調が続いているものの、中国をはじめとする新興国経済の減速懸念や中東・欧州における地政学的リスクを背景に、為替相場や株式市場の不安定さが高まり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、「国内塗料事業の高付加価値化」、「海外塗料事業の積極拡大」、「新たな収益源事業の育成・強化」を重点施策として、取り組んでまいりました。

経営理念

当社は、新しい価値の創造を通じて地球環境や資源を護り、広く社会の繁栄と豊かな暮らしの実現に貢献できる企業を目指します。

代表取締役社長
い わ さ と し じ ろ う
岩浅 壽二郎



この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は358億8千万円(前年同四半期比 5.1%減)、営業利益は29億6千4百万円(同 2億6千万円増)、経常利益は29億2千万円(同 2億8千1百万円増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は18億8千4百万円(同 3億8千9百万円増)となり、営業利益、経常利益ともに上半期の最高益を更新する決算となりました。

ここまでのところ、売上高は期初予想を下回ったものの、利益面は増益となり、通期ベースでも、利益水準は

中期経営計画の目標の達成と4年連続の最高益更新が充分視野に入る状況となっております。

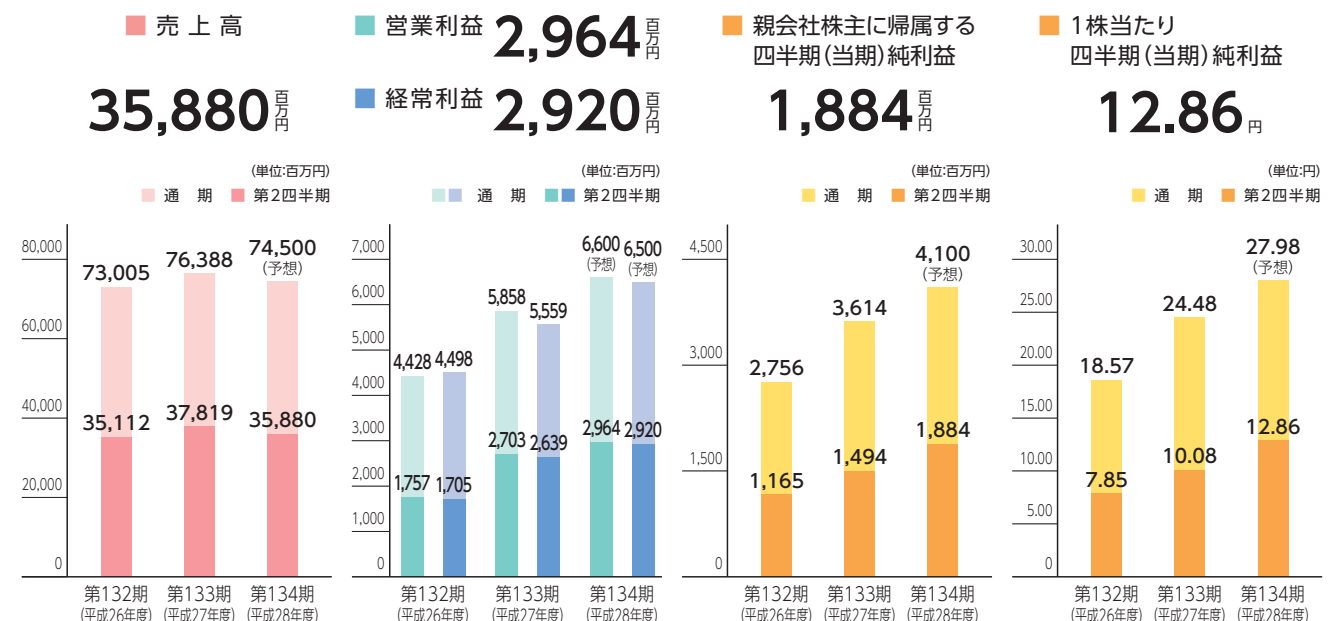
最後に、中期経営計画の最終年度にあたる本年度は「業績目標を必達するとともに、次の3年に繋がる企業基盤を固める期」と位置づけ取り組んでまいり所存です。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年11月

財務ハイライト

Financial Highlights



国内塗料事業

国内塗料事業では、主力の構造物分野において、拡販品目の出荷は順調ながら、市況の回復は鈍く、低調に推移しました。建材分野では、新設住宅着工数の回復を受け堅調に推移しましたが、他の工業塗料分野における需要の低迷をカバーするまでには至らず、減収となりました。一方、利益面では、高付加価値品の拡販や原材料価格の低下により増益となりました。



平成28年3月9日、JR名古屋駅前にグランドオープンした「名古屋ビルディング」には、当社の熱可塑性ふっ素樹脂塗料「デュフナー#100L」が塗装されています。



▲名古屋ビルディング▲



海外塗料事業

海外塗料事業では、中国における景気減速に伴い売上が低調に推移したものの、東南アジアや北中米市場における自動車部品用塗料が好調に推移し、現地通貨ベースでは売上が増加しましたが、円高による為替換算の影響を受け減収となりました。一方、利益面では、高付加価値品の拡販が奏功し、増益となりました。



DNTインドネシアは平成13年に操業を開始し、平成26年には新工場を稼動。2工場体制で日系自動車部品メーカー向け高付加価値塗料、工業用塗料全般を製造販売。現在は事業分野を構造物塗料にも広げ、販売拡大に努めています。



▲PT. DNT INDONESIA

照明機器事業

照明機器事業では、重点市場である業務用LED照明器具の需要は堅調に推移しましたが、蛍光灯関連器具の売上の減少を補うまでには至らず、減収となりました。一方、利益面では、製品の収益性改善が進み、増益となりました。



商業施設や店舗・博物館・学校などの什器照明・屋外照明・間接照明には、当社グループのDNライティング(株)の高性能高付加価値のLED照明器具が採用されています。

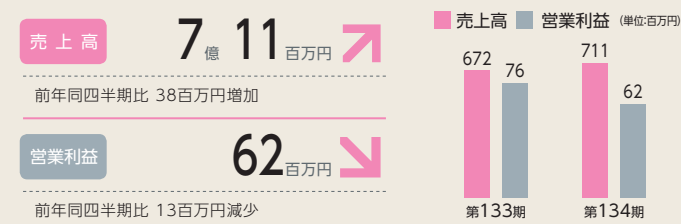


▼日本郵船歴史博物館
施主：日本郵船歴史博物館

▲工学院大学ラーニングcommons B-1CHI
施主：工学院大学
照明計画：飯島直樹(飯島直樹デザイン室)
撮影：金子俊男

蛍光色材事業

蛍光色材事業では、安全対策用塗料が好調に推移したほか、鉄道車輛用カラー帯が新型車輛に採用されたことに伴い、増収となりました。一方、利益面では、円高による為替換算の影響を受け、減益となりました。



鉄道の踏切事故防止策の一環として注意喚起のためのマーキングや、音楽イベント会場などの装飾塗料に、当社グループのシンロイヒ(株)の蛍光塗料が採用されています。



◀踏切注意柵

▼音楽イベントの装飾

その他事業



より幅広い適性確保、あらゆる素材に使用可能な環境に優しい新製品 「マイティー万能水性シーラー」を上市しました

住宅やマンションなどの建築部材に使われる素材は、外壁はモルタルやコンクリート、カラートタンや雨戸は金属系、雨樋には樹脂など、非常に多種多様です。これらの改修塗装では、素材ごとに下地処理の方法や塗装仕様が異なるため、塗装現場では大きな負担となっていました。

また、プレハブ住宅の中心である窯業サイディング材（板状外壁材）には、ここ数十年で光触媒コーティングなどの様々な表面仕上げ工法が用いられているため、外観だけではどのような表面処理を施しているのか判断が難しく、塗装改修の悩みにもなっています。

こうした問題を一挙に解決することを塗料メーカーとして真に受け止め、「あらゆる素材にこれ1本」をコンセプトに「様々な素材に対応でき、さらに環境に配慮して臭気が少なく、安全性に優れた水性塗料」として開発した製品が、水性二液オールインワンシーラー「マイティー万能水性シーラー」です。

同製品は、各種金属系素材から塩ビ管などの樹脂素材、さらには無機系コーティングや光触媒コーティングなどが施された難密着素材への密着性を確保し、様々な素材の塗り替えに対応した下塗り専用の万能シーラーです。

今後の戸建や集合住宅の改修による塗り替え市場において、同製品は、お客様の様々なニーズに対応できる新製品です。



わが家の塗りかえはハロービューシステムまで！

塗りかえて、住まいのイメージチェンジやグレードアップを考えてみてはいかがでしょうか。

オリジナルカラーで美しく



住まいの塗りかえガイド
<http://www.nurikae-sawayaka.jp/>
 ハロービュー事務局
 フリーダイヤル 0120-95-8616

水性重防食塗装システム施工実績 ～「DNT水性重防食システム」～

近年、土木構造物の分野においても、環境保全および健康安全の意識から、有機溶剤系塗料からVOC（揮発性有機化合物）を削減した水性塗料への積極的な移行が推進されています。

水性塗料は、塗料の性質上、施工性や適用幅の狭さなど、多くの課題が残されているのも事実であり、当社では、適用環境や構造に限定されない幅広く適用可能な水性塗料の研究開発を行っています。そのような中、平成27年12月、長野県信州新町の国道19号線の大原橋の塗り替えにおいて、防食下地から上塗り塗料まで全て水性塗料である「DNT水性重防食システム」が採用されました。

季節的に低温環境下での厳しい施工条件でしたが、施工面での工夫・対策も実施することにより、有機溶剤系塗料と遜色なく、高い塗装品質で無事に工事が完了しました。

これからも当社では、水性塗料の性能を向上させ、市場のニーズに応えてまいります。



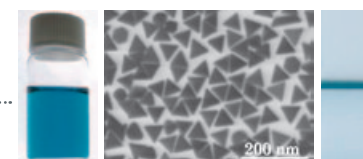
▲長野国道19号線大原橋

検査を彩る次世代の診断用ナノ粒子

当社は、塗料の色をつける顔料（着色に用いる粉末で水や油に不溶のもの）を均一に分散する技術を応用して、様々な分野での実用化に向けて取り組んでいます。そのひとつが「診断用ナノ粒子」です。ナノサイズ（10億分の1メートル）に分散した球状の金ナノ粒子は、鮮やかな赤色を発色します。これはスタンドグラスや薩摩切子といったガラスの着色剤として利用されています。さらにインフルエンザの診断キットや妊娠診断キットの発色材にも利用され、陽性反応の場合は診断キット上に赤色のラインが浮かび上がり目視で判定できます。

当社では、球状以外の形状の金ナノ粒子の開発を進めています。これは、プレート形状の金ナノ粒子であり、鮮やかな青色を発色し、球状の金ナノ粒子と組み合わせて検査キットに利用できます。例えば、インフルエンザ診断キットの場合、A型とB型を赤色と青色の異なる色で目視判断できるため、検出感度向上や誤診の低減が期待できます。

当社は「検査を彩る次世代の診断用ナノ粒子」というキャッチフレーズのもと、金ナノプレートをはじめとした多彩な色を発色するナノ粒子の開発を進め、実用化に向けて取り組んでまいります。



▲金ナノプレート
 (左：水分散液、中央：電子顕微鏡写真、右：診断キットの検出ライン)

四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位: 百万円)

科 目	当第2四半期末 平成28年9月30日現在	前期末 平成28年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	31,052	31,779
固定資産	35,815	35,953
有形固定資産	23,155	23,629
無形固定資産	782	753
投資その他の資産	11,876	11,570
資産合計	66,867	67,732
(負債の部)		
流動負債	30,559	29,704
固定負債	5,275	7,408
負債合計	35,834	37,112
(純資産の部)		
株主資本	24,462	23,382
その他の包括利益累計額	4,705	5,265
新株予約権	82	55
非支配株主持分	1,782	1,917
純資産合計	31,032	30,620
負債純資産合計	66,867	67,732

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書(要旨)

(単位: 百万円)

科 目	当第2四半期(累計) 平成28年4月1日から平成28年9月30日まで	前第2四半期(累計) 平成27年4月1日から平成27年9月30日まで
売上高	35,880	37,819
売上原価	24,846	27,085
売上総利益	11,034	10,734
販売費及び一般管理費	8,069	8,030
営業利益	2,964	2,703
経常利益	2,920	2,639
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,884	1,494

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位: 百万円)

科 目	当第2四半期(累計) 平成28年4月1日から平成28年9月30日まで	前第2四半期(累計) 平成27年4月1日から平成27年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,315	1,897
投資活動によるキャッシュ・フロー	△395	△495
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,414	△1,181
現金及び現金同等物に係る換算差額	△253	△5
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	251	215
現金及び現金同等物の期首残高	3,072	2,444
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,324	2,659

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

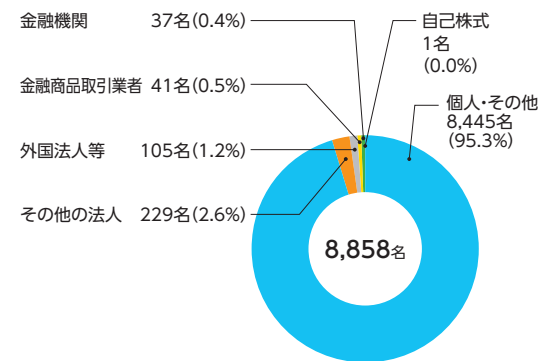
発行可能株式総数 466,406,000株
 発行済株式の総数 148,553,393株
 株主数 8,858名

→ 大株主(上位10名)

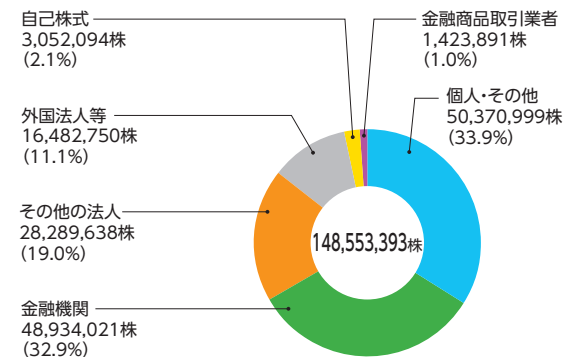
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
明治安田生命保険相互会社	7,000	4.8
株式会社三菱東京UFJ銀行	6,141	4.2
DNT取引関係持株会	6,008	4.1
三菱商事株式会社	5,942	4.0
東京海上日動火災保険株式会社	5,068	3.4
富国生命保険相互会社	5,002	3.4
株式会社島津製作所	5,001	3.4
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,529	3.1
田邊康秀	4,441	3.0
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,056	2.7

(注)平成28年5月13日開催の取締役会決議に基づく自己株式の取得は、平成28年9月21日の買付をもって終了いたしました。
 持株比率は自己株式(3,052,094株)を控除して計算しております。

→ 所有者別株主分布状況



→ 所有者別株式分布状況



- 商号 大日本塗料株式会社
Dai Nippon Toryo Company, Limited
- 本社 〒554-0012 大阪市此花区西九条6-1-124
- ホームページ URL:http://www.dnt.co.jp/
- 設立 昭和4年(1929年)7月25日
- 資本金 8,827百万円
- 従業員数 2,192名(単体:667名)
- 主要な事業内容 塗料・ジェットインクの製造、販売
各種塗装機器装置の販売、塗装工事等
- 主要な事業所
 - 大日本塗料株式会社
本社(大阪)、東京営業本部(東京)
那須工場(栃木)、小牧工場(愛知)
東京、名古屋、大阪 他16営業所

- 子会社及び関連会社
 - 【国内塗料】
大日本塗料北海道(北海道)、日塗化学(株)(東京)
千葉化工(株)(千葉)、大東ペイント(株)(神奈川県)
日東三和塗料(株)(滋賀)、サンデーペイント(株)(大阪)
DNTサービス(株)(大阪)、ジャパンパウダー塗料製造(株)(大阪)
岡山化工(株)(岡山)、DNT山陽ケミカル(株)(広島)
ビーオーケミカル(株)(福岡)
 - 【海外塗料】
Thai DNT Paint Mfg.Co.,Ltd.(タイ)
DNT Singapore Pte.,Ltd.(シンガポール)
DNT Paint(Malaysia) Sdn.Bhd.(マレーシア)
PT. DNT INDONESIA(インドネシア)
Lilama3-Dai Nippon Toryo Co.,Ltd.(ベトナム)
迪恩特塗料(上海)有限公司(中国)
DAI NIPPON TORYO MEXICANA, S.A. de C.V.(メキシコ)
DNT KANSAI MEXICANA S.A. de C.V.(メキシコ)
 - 【照明機器】
DNライティング(株)(神奈川県)、ニッポ電工(株)(秋田)
 - 【蛍光色材】
シンロイヒ(株)(神奈川県)
 - 【その他】
日塗エンジニアリング(株)(神奈川県)、ニットサービス(株)(大阪)

→ 役員 (平成28年9月30日現在)

代表取締役社長	岩 浅 壽二郎	執行役員	間 嶋 則 博	常勤監査役 (社外監査役)	福 岡 靖 之
取締役専務執行役員	瀬 古 宜 範	執行役員	小 林 正 樹	常勤監査役	室 内 聖 人
取締役常務執行役員	三 角 高 敏	執行役員	石 渡 正 秀	監 査 役 (社外監査役)	藤 井 浩 之
取締役常務執行役員	里 隆 幸	執行役員	高 松 厚		
取締役執行役員	野 田 秀 吉	執行役員	山 本 基 弘		
取締役執行役員	須 川 哲 夫	執行役員	梶 田 宏 行		
取締役(社外取締役)	岩 田 哲 夫	執行役員	木 村 直 之		
取締役(社外取締役)	灰 崎 恭 一				